

九州初の全国大会！
この機会にぜひ

くじゅうの山の魅力



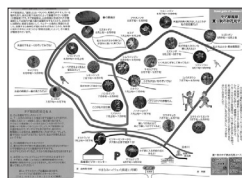
タデ原湿原

- ▶ ルート全長 2.5km
- ▶ 歩行時間 60分

気軽に歩けるコース

長者原に広がるタデ原湿原には木道が敷かれており、気軽に散策することができます（一部バリアフリー）。タデ原湿原では7月から9月にかけて1年で最も花が多い時期で、約2週間程度で次々に見ごろの花が入れ替わります。森の中も起伏はほとんどなく、ミズナラやブナなどの落葉広葉樹の木漏れ日の中を歩くことができます。一面ミズゴケに覆われた場所もあり、変化に富んだ森の中を散策できます。

夏の日中の木道は日差しを遮るものがないので、早朝や夕方の散策がおすすめ。



◀ 長者原ビジターセンターHPにはおすすめコースがたくさん！



初心者にも
登りやすい



黒岩山・泉水山

- ▶ ルート全長 9.6km
- ▶ 歩行時間 3時間30分

登山口の牧ノ戸峠から、沓掛山方面とは反対の黒岩山へ。東屋を過ぎると急な登りとなります。30分ほどでなだらかなピークに出ます。黒岩山の名前は東峰に露出する黒い岩から付けられたといわれています。山頂からは涌蓋山やくじゅう連山が望めます。

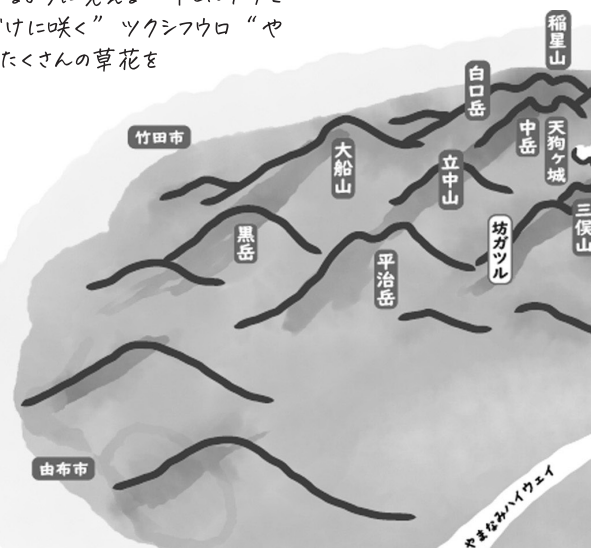
黒岩山からはササ原の中を歩き、ところどころの岩稜を乗り越えると大崩の辻への分岐をへて、上泉水山に着きます。足下に広がる長者原の温泉郷を眺めながら草原を歩き、急な下りをすぎると下泉水山です。ここから少し下ると美しい草原が一面に広がる場所に出ます。草原の中を下りきると長者原で、※ここからは九州自然歩道を歩いて牧ノ戸峠へと戻ります。

※九重町コミュニティバスも利用できます。時間を調べてご利用ください

● タデ原湿原は毎年春に行われる野焼きによってその環境が維持されており、2005年には国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されました。

● タデ原湿原では、夏（7月下旬～8月下旬）は青紫色をしたポンポンのように丸い“ヒゴタイ”が咲きます。ヒゴタイは絶滅危惧種にも指定されている貴重な花です。

● その他にも、木道の下をのぞいてみると、夏から秋にかけて、おじぎしているように見える“キセルアザミ”や、大分・熊本だけに咲く“ツクシフウロ”や“ヒゴシオン”などたくさん草花を見ることができます。



山や時間・季節に応じて、装備品・持ち物を変えましょう！



山歩きの持ち物・必需品

- リュック
- 帽子
- 登山靴
- 登山服
- 雨具
- 防寒具
- 時計
- 登山マップ
- 救急セット
- 非常食
- 飲み物（水など）
- タオル
- 着替え
- 虫よけスプレー 等



山登りは楽しいだけではなく、危険を伴うものでもあります。天候の急変や落石・転落など、さまざまな状況を想定し、登山計画をたてて準備や行動をして危険を回避しましょう。登山届はスマートフォンからも提出できます。

大分県警察HP ▶
(登山届について)

